

PROSODY AND GRAMMAR FESTA

共催：国立国語研究所 共同研究プロジェクト
「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」
神戸大学人文学研究科

日時：2022年1月29, 30日（土, 日）

会場：オンライン（Zoom）

※新型コロナウイルスの感染状況をうけて開催方法を変更いたしました
参加には事前登録（<https://forms.gle/vUets93BRgjwPtGL6>）が必要です。
事前登録をしていただいた方には、開催の数日前に参加用のURL等をお知らせいたします。

参加費
無料

事前登録
(1月21日〆切)



■対照言語学プロジェクト6年間の総括

- 「対照言語学の観点から見た日本語のプロソディー」窪菌 晴夫（国語研）
- 「対照言語学の観点から見た日本語の名詞修飾表現」プラシャント パルデシ（国語研）
- 「対照言語学の観点から見た日本語のとりたて表現」野田 尚史（日本大学&国語研）
- 「対照言語学の観点から見た空間移動と直示性の表現」松本 曜（国語研）
- 「対照言語学の観点から見た日本語の計算言語学」窪田 悠介（国語研）

■基調講演

- 「日本語の歴史的対照文法の方法と課題」小田 勝（國學院大學）

■研究発表

- 「声援・呼びかけ・宣言のテキストセッティングと韻律要素」田中 真一（神戸大学）
- “Postnasal Voicing and the stratified lexicon of Japanese” Junko Ito and Armin Mester
(University of California, Santa Cruz)
- 「ゾゾ語類別詞の機能と振る舞い—名詞句用法と修飾用法に焦点を当てて—」宮岸 哲也
(安田女子大学)
- 「「相対補充」の名詞修飾節における推論の役割—日本語・韓国語・アルメニア語の対比を
通じて—」堀江 薫（名古屋大学）
- 「移動表現の類型論と第二言語習得研究—非対称性の仮説を検証する—」吉成 祐子（岐阜
大学）・眞野 美穂（鳴門教育大学）・江口 清子（大阪大学）
- 「解釈述語・内容述語間の主要部交替から見た日英語の文構造」小原 京子（慶應義塾大
学）・長谷川 葉子（University of California, Berkeley）

■ポスターセッション（詳細別途）



PROSODY AND GRAMMAR FESTA 6

1月29日（土）

13:30 開会

セッション1 「対照言語学プロジェクト6年間の総括」

13:35-14:15 「対照言語学の観点から見た日本語のプロソディー」 窪菌 晴夫（国語研）

14:20-15:00 「対照言語学の観点から見た日本語の名詞修飾表現」 プラシャント パルデシ（国語研）

15:00-15:15 休憩

15:15-15:55 「対照言語学の観点から見た日本語のとりたて表現」 野田 尚史（日本大学 & 国語研）

16:00-16:40 「対照言語学の観点から見た空間移動と直示性の表現」 松本 曜（国語研）

16:45-17:25 「対照言語学の観点から見た日本語の計算言語学」 窪田 悠介（国語研）

1月30日（日）

セッション2 研究発表

10:00-10:30 「声援・呼びかけ・宣言のテキストセッティングと韻律要素」 田中 真一（神戸大学）

10:35-11:05 “Postnasal Voicing and the stratified lexicon of Japanese” Junko Ito and Armin Mester (University of California, Santa Cruz)

11:05-11:15 休憩

11:15-11:45 「ゾゾ語類別詞の機能と振る舞い—名詞句用法と修飾用法に焦点を当てて—」 宮岸 哲也（安田女子大学）

11:50-12:20 「「相対補充」の名詞修飾節における推論の役割—日本語・韓国語・アルメニア語の対比を通じて—」 堀江 薫（名古屋大学）

12:20-13:20 休憩

ポスターセッション

13:20-14:35 （詳細別途） [ブレイクアウトルームを用いた発表]

セッション3 研究発表

14:45-15:15 「移動表現の類型論と第二言語習得研究—非対称性の仮説を検証する—」 吉成 祐子（岐阜大学）・眞野 美穂（鳴門教育大学）・江口 清子（大阪大学）

15:20-15:50 「解釈述語・内容述語間の主要部交替から見た日英語の文構造」 小原 京子（慶應義塾大学）・長谷川 葉子（University of California, Berkeley）

15:50-16:00 休憩

基調講演

16:00-17:00 「日本語の歴史的対照文法の方法と課題」 小田 勝（國學院大學）

17:00 閉会



PROSODY AND GRAMMAR FESTA 6

■ポスター発表はZoomのブレイクアウトルームを用いて行います。

1月30日（日） 13:20-14:35

ポスター発表

Aグループ（13:20-13:55）

- 1 「体言化理論から見たアワディー語の「関係節」」 池上 晶一（大阪大学）
- 2 「日本語無声阻害音および母音の持続時間とモーラ長との関係」 松井 理直（大阪保健医療大学）
- 3 「日中語の授受補助動詞構文の相違点 一恩恵性を中心に一」 趙 蓉俊子（新潟大学）
- 4 「異なるスタイルの発話における音響特徴の分析」 芝本 英^{*1}・守本 真帆^{*2}・荒井 隆行^{*1}（^{*1}上智大学, ^{*2}国語研）
- 5 「福岡市方言における「確信」を表すイントネーションについての初期報告」 小川 晋史（熊本県立大学）
- 6 “The Prosodic Realization of Accented Words after NPI: Gender-based Differences” Le Xuan Chan, Keitaro Mitsuhashi, Kotone Sato, Rina Furusawa, Rin Tsujita, Seunghun J. Lee (International Christian University) [英語で発表]

Bグループ（14:00-14:35）

- 7 「シンハラ語における「限定」のとりたて表現と語順：コーパスを用いた研究」 吉田 樹生（東京大学）
- 8 「移動表現における多重表示の冗長性と類型論」 長屋 尚典^{*1}・鈴木 唯^{*1}・谷川 みずき^{*1}・林 真衣^{*2}・諸隈 夕子^{*1}（^{*1}東京大学, ^{*2}東京外国語大学）
- 9 「愛媛県中予方言の主格標示と対格標示：Differential Argument Markingに着目して」 宮岡 大（九州大学）
- 10 「日本語における状態変化の類型的特徴：構文の多様性とその頻度」 松本 曜・氏家啓吾（国語研）
- 11 「閉鎖音と後続母音間に見られる同化効果及び対比効果」 石橋 頌仁・竹安 大（福岡大学）
- 12 “Prosodically prominent clitic: the exclusive particle tu in Swahili” Shigeto Kamano (International Christian University), Yuko Abe (Lanzhou University), Kumiko Miyazaki (Global Center for Kiswahili Studies and Advancement), Seunghun J. Lee (International Christian University, University of Venda) [英語で発表]

